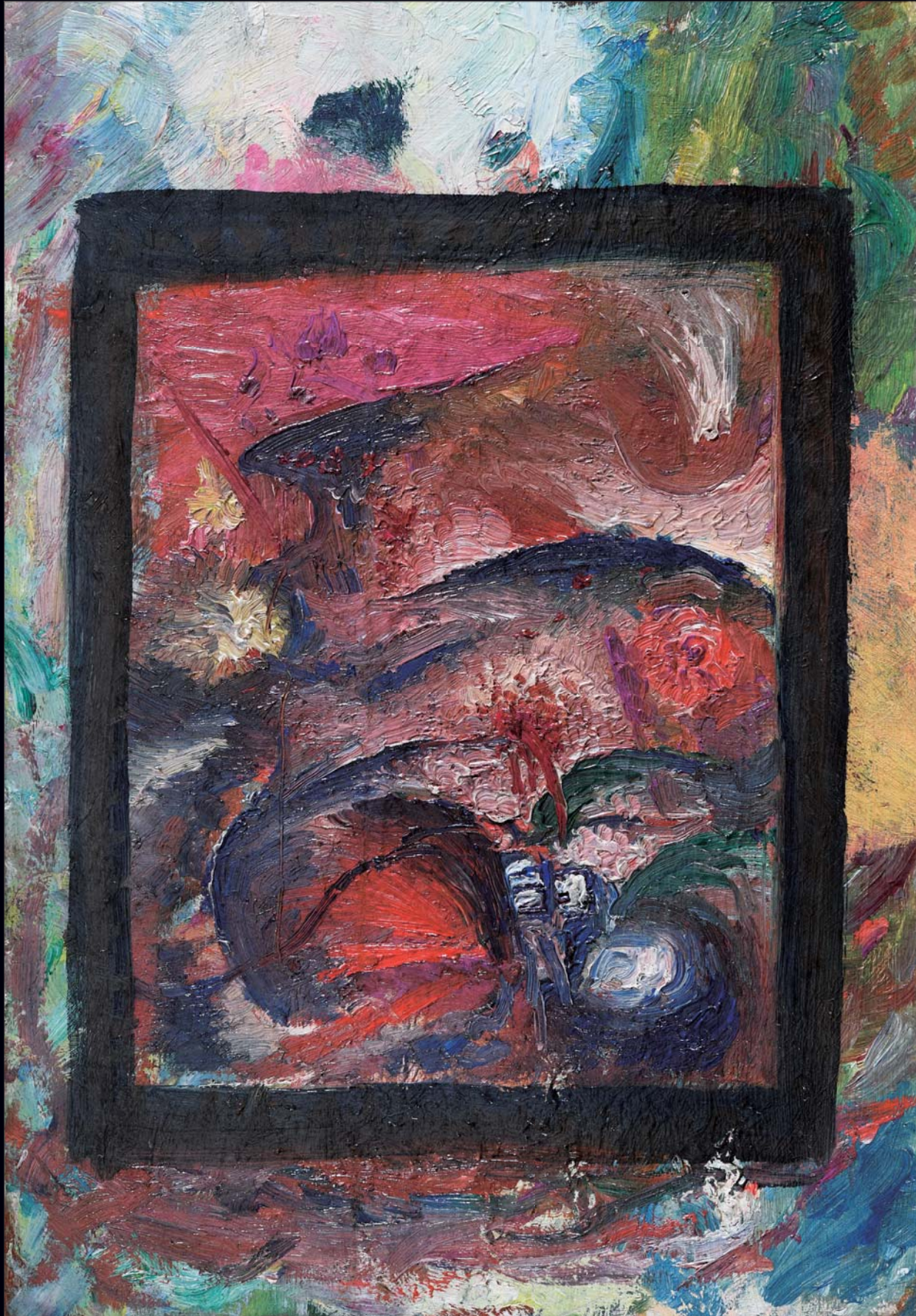


変幻自在の表現

萬鉄五郎 千紫万紅

* 芸術の終局の目的は人間を表現することではない



《会期》

2026（令和8）年

4月25日〔土〕—

6月28日〔日〕

《開館時間》

9時～17時（入館は16時30分まで）

《休館日》

月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）

《主催・会場》

萬鉄五郎記念美術館

岩手県花巻市東和町土沢5-135 TEL 0198-42-4402 FAX 0198-42-4405

《入館料》

一般 500（450）円

高校・学生 300（250）円

小学・中学生 200（150）円

（ ）内は20名以上の団体料金

《関連行事》

第46回萬鉄五郎祭

《日時》5月3日〔日〕14時～14時30分

土澤アート&クラフト・フェア2026春

《日時》5月3日〔日〕・4日〔月〕祝

《会場》萬鉄五郎記念美術館前庭／土沢商店街

《同時開催》

没後20年

美術家・村上善男と花巻展

《会期》4月25日〔土〕—6月28日〔日〕

《会場》八十蔵ギャラリー（入場無料）

萬鉄五郎記念美術館

* 萬鉄五郎 技術（い）事、ふつゝ 大正十三年三月

変幻自在の表現

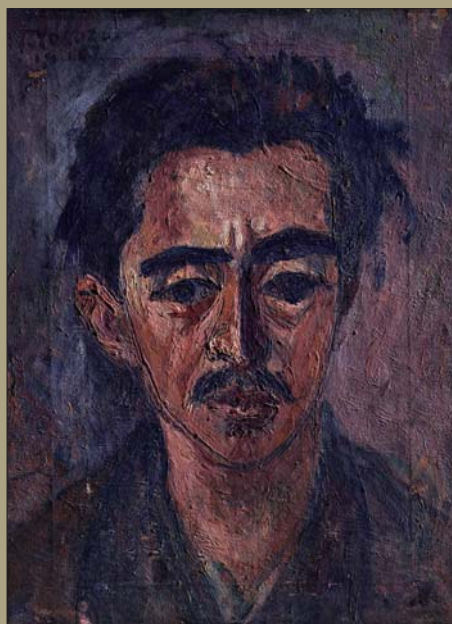
萬鉄五郎 千紫万紅

明治末から大正期を前衛画家として駆け抜けた萬鉄五郎〈よろず・てつごろう／1885-1927〉は、多様な美術思潮に影響を受けその技法を実践し、新しい表現を求め続けました。日本近代美術の先駆者と評される彼の画業は苦闘の連続で、一人の画家が描いたと思えないほどバラエティーに富んだ作風の展開は、今日私たちを驚かせます。

東京美術学校の教授・黒田清輝に倣った外光派にはじまり、ゴッホやマティスの感化を受けた後期印象派やフォーヴィスム、表現主義や未来派、世界的にも早い抽象的表現、さらには土沢の地で実験を重ねたキュビズムと、西洋の新思潮にいち早く呼応し、その表現を自らのものとしていきます。一方、幼少期には水墨画の基礎を学び、晩年の茅ヶ崎移住後には、日本の伝統的な絵画技法・南画に傾倒するなど、洋の東西を問わず様々な美術表現を試みました。

また、制作技法においても、基礎となるスケッチやデッサンをはじめ、水墨、水彩、油彩、版画など多彩な素材と手法を用い、ときに写真や装幀、デザイン、さらには詩の表現にも独創性をみせています。

本展では、絶えず変化を続け多様な魅力をみせる萬鉄五郎の「表現」に着目し、〈水絵〉、〈光の表現〉、〈自刻版画〉、〈南画＝筆のリズム〉、〈人物と身体〉など…共通するテーマや技法で描かれた作品を対比しながら、独自色に溢れる萬鉄五郎の表現性に迫ります。



[1]



[2]



[3]



[4]



[5]



[6]



[7]



[8]

【表面】《心象風景》(部分) 油彩・板 32.0×23.0cm 1912 (大正元) 年頃

[1] 《口髪のある自画像》油彩・画布 45.8×33.5cm 1914 (大正3) 年頃

[2] 《アメリカ風景》水彩・鉛筆・紙 15.9×24.3cm 1905 (明治38) 年頃

[3] 《霧の朝》油彩・画布 24.0×33.0cm 1910-11 (明治43-44) 年頃

[4] 《太陽と道》油彩・板 24.0×33.0cm 1912 (大正元) 年頃

[5] 《丘のみち》油彩・画布 40.6×45.9cm 1918 (大正7) 年

[6] 《砂 丘》紙本墨画 66.5×68.0cm 1922 (大正11) 年頃

[7] 《水 浴》油彩・画布 18.1×15.1cm 1921 (大正10) 年

[8] 《羅布がつく人》木版・紙 17.2×12.6cm 1924 (大正13) 年

【関連行事】

第46回萬鉄五郎祭

● 萬鉄五郎祭 式典

《日 時》令和8年5月3日 [日] 14時～14時30分

《会 場》萬鉄五郎記念美術館

● 萬鉄五郎祭 茶会

《日 時》令和8年4月12日 [日] 10時～15時

《会 場》東和コミュニティセンター (花巻市東和町安俣 6-53)

《参加費》一席 700 円

● 写生会

《日 時》令和8年4月26日 [日] 9時～12時

《会 場》萬鉄五郎記念美術館周辺

《参加費》500 円 (幼児から一般まで)

参加者には作品をプリントしたエコバックを差し上げます。

● 写生作品展示会

《日 時》令和8年5月1日 [金] — 5月17日 [日]

《会 場》花巻市立東和図書館ロビー (花巻市東和町安俣 6-90)

【同時開催】

没後20年 美術家・村上善男と花巻展

《会 期》令和8年4月25日 [土] — 6月28日 [日]

《開館時間》9時～16時30分

《休館日》月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)

《会 場》萬鉄五郎記念美術館「八丁土蔵ギャラリー」

《入場料》入場無料

土澤アート&クラフト・フェア 2026 春

《日 時》令和8年5月3日 [日]・4日 [月・祝]

《場 所》萬鉄五郎記念美術館前庭／土沢商店街

萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5区135番地

TEL. 0198-42-4402 / FAX. 0198-42-4405

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/1019887/yorozutetsugoro/1002101.html>

展覧会及び行事の最新情報は、ホームページをご確認ください。



村上善男 1995 (平成7) 年
【撮影：内藤正敏】



村上善男《ヴァグースQ》
油彩・画布 1955 (昭和30) 年

